

1 教 育 目 標

(1) 本校の教育目標

校 訓 「 強 く 正 し く 明 る く 」

が	ん	ば	り	体	力	き	た	え	る	子	・	・	・	元	気	で	気	力	に	み	ち	最	後	ま	で	が	ん	ば	る	子	ど	も		
ま	こ	の	心	で		な	か	よ	い	子	・	・	・	思	い	や	り	が	あ	り			協	力	し	て	生	活	す	る	子	ど	も	
ほ	ん	き	で	勉	強		と	り	く	む	子	・	・	・	自	ら	進	ん	で	考	え		粘	り	強	く	学	習	す	る	子	ど	も	
く	ろ	う	き	ら	わ	ず		や	り	ぬ	く	子	・	・	・	働	く	こ	と	を	好	み		よ	く	考	え	行	動	す	る	子	ど	も

(2) 経営方針

「かがやく瞳 はすむ声 しびれる心」を学校経営スローガンに掲げ、家庭・地域との連携・協働を基盤とし、子ども及び教職員の、「やる気・好奇心いっぱい、瞳が輝き、声が弾み、共に成長していく」姿を通して、信頼される学校をめざす。

- ☆ かがやく瞳 ・ ・ ・ 自信をもち、夢を学び合う学校
- ☆ はすむ声 ・ ・ ・ 喜び・感動・思いやりが、ことばになって響き合う学校
- ☆ しびれる心 ・ ・ ・ 互いに刺激し合い、共に成長し合う学校

(3) 本年度の重点努力目標 ・ ・ ・ 「蒲北大好き！」と言える子どもと教職員をめざして

ア 自信をもち、夢を学び合う学校

- ・ 地域社会（蒲郡のひと、もの、こと）を生かした学習の充実に努め、体験を重視し、実感と感動のある学習活動をつくる。
- ・ 自らの学びを自他のために生かそうとすることで、自己肯定感、自己有用感を育む。
- ・ 子ども一人一人の思いや学習状況の把握に努め、個に寄り添った指導をする。
- ・ 読書の楽しさを味わえる環境を整え、読書に親しむ態度を育てる。

イ 喜び・感動・思いやりが、ことばになって響き合う学校

- ・ 「おはよう」「またね」「ありがとう」「すごいね」「がんばったね」等、人から言われて嬉しい言葉が、自然と発せられる学級・学校をめざす。
- ・ 「**NO**いじめ、**繋ぐ不登校**」＝兆候を見逃さず、全職員で組織的に対応する。
- ・ 「みんなちがって、みんないい」、安心できる居場所づくりに心を配る。
- ・ 縦割りグループ（なかよし）での継続的な活動を通し、自他を思いやり、協力し合う態度を育てる。
- ・ ICT教育の推進に力を入れると共に、情報モラルの必要性を理解させ、安全で健康的な情報処理ができるようにする。

ウ 互いに刺激し合い、共に成長し合う学校

- ・ 友だちとの学びを通し、自らの学びを修正しながら深めていく。⇒＜友だちと＞
- ・ すべての教職員が学校経営への参画意識をもち、学校や学年、学級の方針や指導に一貫性をもたせ、アイデアを出し合う。⇒＜教職員間で＞
- ・ 学校行事や学校生活の情報を積極的に発信（HP、学校だより、学年だより等）し「家庭」「地域」「学校」の連携を深める。⇒＜家庭や地域と＞
- ・ 健康、安全、命を大切にす授業や訓練を計画的に行うとともに、家庭・地域との連携体制を整える。
- ・ 学校評価の分析を教育活動に生かすとともに、地域の声を聞きながら、学校と地域の双方の課題解決に取り組む。